

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称		信州国際音楽村ホールこだま、生涯学習の里研修センター、音楽村公園				
指定管理者名		一般財団法人 信州国際音楽村		料金制導入区分	利用料金	
指定管理期間		令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日 (5年間)				
施設所管課		文化スポーツ観光部 文化政策課		担当者(内線)	田中・的場(42-3147)	
設置目的		信州国際音楽村条例(平成18年条例第83号。以下「設置条例」という。)及び上田市都市公園条例(平成18年条例第213号。以下「公園設置条例」という。)に基づき設置された信州国際音楽村(以下「音楽村」という。)及び信州国際音楽村公園(以下「音楽村公園」という。)の管理運営業務。				
指定管理者が行う業務内容		ホールこだま及び生涯学習の里研修センターの維持管理に関する業務、同施設の運営に関する業務(1 文化振興事業 2 施設管理事業 3 地域振興事業 4 支援・育成事業 5 自主・提携事業)				
管理業務の状況	作業項目	作業内容		回数	実施日	実施状況
	日常清掃	日常的な管内清掃		一日1回以上		職員等が実施
	消防設備点検	有資格者による法定点検		年1回以上		専門業者に委託
	特定建物定期点検	有資格者による法定点検		3年に1回以上		専門業者に委託
	施設保守・修繕業務	専門業者による対応		年2回以上		専門業者に委託
	電気保安点検業務	専門業者による点検		年1回以上		専門業者に委託
	冷暖房設備保守点検	専門業者による点検		年1回		専門業者に委託
	ピアノ保守点検(スタンウェイ)	専門業者による点検		年1回		専門技術者に委託
職員の配置状況	役職等(職務内容)				計画	実績
	館長				1 人	1 人
	管理担当(正規)				1 人	1 人
	補助職員				6 人	6 人
施設の利用状況	利用区分等	設定目標値	R6年度実績	達成率	R5年度実績	前年度比
	ホールこだま来場者数	30,000 人	23,250 人	77.5 %	24,040 人	96.7 %
	研修センター利用者数	27,000 人	25,301 人	93.7 %	24,404 人	103.7 %
	ホールこだま利用回数	250 回	209 人	83.6 %	208 人	100.5 %
	研修センター利用回数	950 回	810 人	85.3 %	887 人	91.3 %
	開館日数	312 日	延べ利用者数(R6)	48,551 人	一日あたり利用者数	156 人
	(施設所管課による評価)					
	昨年並みの実績と言えるが、コロナ禍以前と比べると、利用形態の変化が定着したとみられる。(イベントの小規模化)					
自主事業の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
	開村記念事業(野外フェス、記念音楽祭4回)			R6.6	11,520人	
	kodamaサロンコンサート等			R6.5-R7.1	870人	
	音楽村女子会			年4回	約80人	
	わくわく芸術体験学校訪問コンサート			年3回	3校219人	
	すいせん祭り、ラベンダー祭り(花壇整備活動含む)			R6.4月、7月	約4050人	
	マリコワイナリーとのイベント連携			R6.10.26		
	(施設所管課による評価)					
上記イベント運営・連携に加え、夏季合宿・セミナー等における施設利用サポートを行い、 通年で利用者の利便性及び満足度を向上するサービスを提供している。						

			項目	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	備考	
指定管理者	指定管理業務	収入	ホールこだま利用料	5,400,162	4,857,852	4,000,000	4,616,970		
			研修センター利用料	2,455,661	3,094,830	4,000,000	3,390,295		
			市民コンサート等	1,189,775	1,570,500	1,160,000	1,731,500		
			支援育成事業収入等	1,503,936	1,451,428	1,690,000	1,467,180		
			受託料等(上田市)	32,041,000	33,075,000	33,075,000	33,075,000		
			計	42,590,534	44,049,610	43,925,000	44,280,945		
		支出	人件費	12,677,794	15,561,658	16,665,660	13,973,754		
			清掃保守費	7,633,103	7,683,508	7,732,000	7,940,009		
			水道・光熱費、消耗品費	7,207,598	5,966,343	6,666,000	6,214,701		
			修繕費	1,842,899	1,530,143	1,142,000	1,266,949		
			通信費、旅費交通費等	6,180,972	3,803,545	3,545,930	3,359,526		
			その他	5,692,856	4,368,021	4,320,100	6,583,915		
		計	41,235,222	38,913,218	40,071,690	39,338,854			
		差引			1,355,312	5,136,392	3,853,310	4,942,091	
	自主事業	収入	自主イベント事業収益	9,214,045	8,805,338	8,680,000	9,736,317		
			市受託金(指定管理以外)	3,287,294	3,287,294	3,227,300	3,823,394		
			受取寄付金ほか	3,348,283	3,009,620	3,988,900	2,993,290		
			計	15,849,622	15,102,252	15,896,200	16,553,001		
		支出	人件費	3,214,108	3,214,108	3,120,000	3,765,181		
			製作費等	10,446,185	15,830,888	14,078,370	17,030,503		
			宣伝広告費	4,679,618	4,679,618	1,790,000	1,388,900		
			計	18,339,911	23,724,614	18,988,370	22,184,584		
		差引			△ 2,490,289	△ 8,622,362	△ 3,092,170	△ 5,631,583	
		市	歳入	使用料	303,487	297,972	300,000	685,843	
財産収入	406,080			406,080	406,000	947,100			
雑入	61,237			52,558	0	0			
計	770,804			756,610	706,000	1,632,943			
歳出	指定管理料		32,041,000	33,075,000	33,075,000	33,075,000			
	開村記念上田市負担金		2,718,000	2,718,000	2,664,000	2,664,000			
	工事請負費		0	0	1,200,000	1,199,000			
	備品購入費		0	0	0	0			
	計		34,759,000	35,793,000	36,939,000	36,938,000			
差引			△ 33,988,196	△ 35,036,390	△ 36,233,000	△ 35,305,057			
総合計			△ 35,123,173	△ 38,522,360	△ 35,471,860	△ 35,994,549			

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

	評価項目	判 断 基 準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。 責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
	事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○
		条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	○
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。 施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
	経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。	○
		管理費用の執行状況は適正か。	○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取組みが行なわれているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
		管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。 (※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか。	○
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないように、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	○
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
		安全衛生の管理体制は適正か。	○
個別事項			
(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載			

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

(1)令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

・これまで継続してきた文化振興事業、地域振興事業も引き続き実施しつつ、特に市民参加型の支援・育成事業については地域住民や音楽愛好家が参加できる機会の提供を積極的に行い、青少年や子供達の育成の一助となる事業としても取り組みました。
・財団独自の自主・提携事業により他事業・他団体との連携・協力し、活動の機会をサポート・協力を積極的に行い、これらの事業を通じて、地域社会への貢献と文化振興に努めた点が実績として表れています。
・施設の清掃、管理などを行い、来場者の快適性を高める活動に取り組みました。

②経費節減に対する取り組み

・施設維持管理業務に関して光熱費の高騰に対する節電の取り組みなどこまめに行いながら、全般的な対策を行政側との連携を密にし、施設運営に関しての課題の共有をしながら次年度へ計画を行いました。
・業務の見直しやローテーションの工夫により人件費の削減に努めています。
・消耗品等の納入業者も選定し、経費削減に努めています

③その他

・施設の利用件数と利用者数の変化から施設利用状況がコロナ以前(2019年)と、利用形態(利用者のニーズ等)に変化してきている状況に対応し、持続可能な事業の実施を行っています。
・引き続き行政や地域との連携を強化し「新たな活動の場の創出と、地域の皆様が本物の体験ができる環境づくり」を目指し、地域との連携をさらに深めながら財団独自のノウハウを生かしながら、次世代へつなげる施設運営を通して地域社会への貢献を目指してまいります。

(2)指定管理業務実施上の課題

・施設維持管理業務での課題について、特に施設の老朽化に関しては行政側との連携をとりながら対策を講じているが、より顕著な劣化部分なども見受けられ、引き続き迅速な対応と、大規模な改修については実施計画を含めた行政との長期的かつ連携を密にした修繕計画が必要と思われます。
・施設の老朽化により、今後はより修繕費が増加傾向にあります。(パノラマステージひびき、スプリングラー、研修センターバランダ、宿泊棟、公園内設備 他)
・気候変動によるものと思われる公園内の植生の変化(すいせん、ラベンダー)が見受けられ、今後の計画に変更を余儀なくされる恐れがあります。
・施設管理費等の固定費の増加、および人件費の高騰に伴い、文化事業の選択と集中及び効率化もより求められることと思われます。
・長期的な事業継続を見据え、適性のある人材・職員の確保と育成が必要です。

(3)次年度以降の取り組み

・施設利用者、来場者の安全確保を第一に、利用しやすい施設環境の維持・管理と、利用に際しての丁寧な打合せによる施設利用のサポートをしてまいります。
・信州国際音楽村周辺に展開している商業施設(物産館・カフェ・レストラン・など)との連携を強化し、信州国際音楽村周辺をより魅力的な施設として運営できるよう情報発信していきます。
・市内の他施設との協働の取り組みを積極的に実施し、全市的な文化振興の機運を高める活動をおこないます。
・メルシャン梔子ワイナリーやあさつゆ・鹿教湯温泉など丸子地域内の他業種施設とも連携を深め、地域内・他業種交流の活性化に取り組みます。
・施設の現況調査を精査しながら修繕計画を作成・実施します。
・主催事業については全般的な見直しを行い、選択と集中を行いつつ、持続可能な事業の実施を目指します。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

特になし

②市からの改善指示に対する対応(※ 市から改善指示等があった場合のみ)

特になし